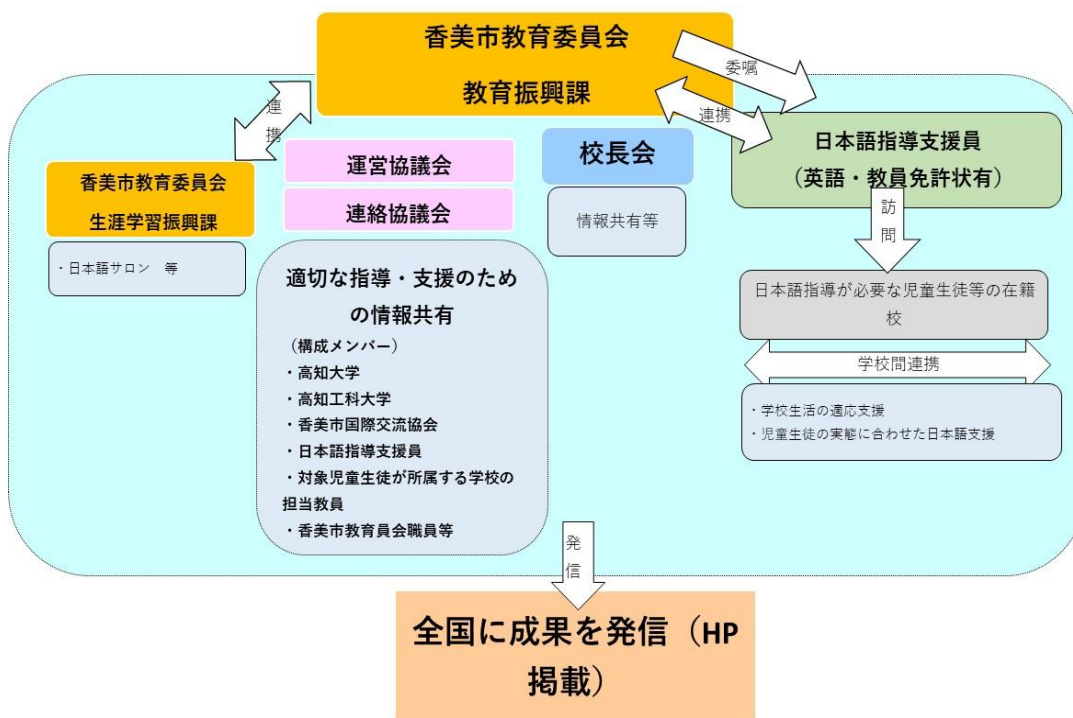


令和7年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (Ⅰ 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)
 事業内容報告書の概要

地方公共団体名【香美市】

令和7年度に実施した取組の内容及び成果と課題

1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)



2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること

- (1)地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営
 ・9月に連絡協議会(現状協議)、1月に運営協議会(情報共有・方向性協議)を開催した。
- (2)学校における指導体制の構築
 ・日本語指導支援員(教員資格者)を配置し、週2日3校を巡回し、校内研修を3月に実施した。
- (3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施
 ・「特別の教育課程」を編成し、「日本語指導支援員」の協力のもと日本語指導を実施した。
- (4)成果の普及
 ・市教育委員会ホームページにて、実践の概要と成果を公表する予定。
- (5)日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣
 ・専門性の高い支援員を派遣し、学級担任と連携した巡回指導や日本語能力の見取りを実施した。

3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること

(1)地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営

- ・成果:市内児童生徒や留学生の状況が共有され、支援の方向性が明確になった。
- ・課題:外国籍児童の転入対応マニュアルの策定・運用する予定。

(2)学校における指導体制の構築

- ・成果:巡回指導により個別の指導計画を作成した。大学講師による校内研修で理解を促進した。
- ・課題:週2日の訪問では不十分であり、SSWやSCとの連携体制の強化が必要である。

(3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施

- ・成果:1名に対して課程を編成し実施し、次年度に向けた実践例の蓄積に努めた。
- ・課題:管理職、養護教諭を含めた学校全体の組織体制の構築を図る。

(4)成果の普及

- ・成果:地域のみでなく全国に成果を発信する予定である。
- ・課題:地域の関係者で成果と課題を共有し、次年度以降の取組に活用する予定である。

(5)日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

- ・成果:高知大学との密な連携により、適切な見取りと学級担任との連携が実現した。
- ・課題:支援員がいない日でも担任が支援できる体制を全校へ普及する。

	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	中等教育 学校	特別支援 学校
本事業で対応した幼児・児童 生徒数	人 (園)	4人 (3校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)
うち、特別の教育課程で指導 を受けた児童生徒数		1人 (1校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)

4. その他(今後の取組予定等)

・マニュアルの改善: 外国籍児童の受け入れに係るマニュアル(案)について、連絡協議会委員の助言を受けながらブラッシュアップを図る。

・実態把握の継続: 外国にルーツを持つ児童(両親のどちらかが外国人など)の潜在的なニーズ把握と適切な支援に努める。

・連携モデルの横展開: 学級担任と支援員が効果的に連携している先行事例を、市内他校へ普及させる。

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開する。